

第121回 薬事エキスパート研修会 医療情報データを新薬開発やリスクマネジメントに如何に活かすか

主催	一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団(旧 日本公定書協会)	
後援	日本製薬団体連合会	米国研究製薬工業協会(PhRMA)
	日本製薬工業協会	欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)
	社団法人東京医薬品工業協会	日本 CRO 協会
	大阪医薬品協会	社団法人日本医薬品卸業連合会
	日本 OTC 医薬品協会	財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
	日本ジェネリック製薬協会	公益財団法人 MR 認定センター

医薬品の安全対策を科学的に行うためには、有害事象の早期検出や評価等において医療情報データベースが必須であることはいうまでもありません。しかしながら、我が国では欧米のような大規模医療情報データベースの整備が遅れており、その早急な整備が求められています。そのような中であって厚生労働省は近年、大規模なレセプトデータベースや診療情報データベースを整備するための施策を開始しました。

我が国においても範囲は限られているものの、レセプト情報や診療情報等の各種の医療情報データベースを整備する試みがなされており、その成果は薬剤疫学的な研究や、臨床開発時における方針決定、有害事象が医薬品によるものなのかどうかの判断等に利用されています。

そこで、当研修会においては、利用可能な医療情報データベースの現状や、それを用いた薬剤疫学やリスクマネジメント、新薬開発戦略への活用の現状等を各分野の専門家からご紹介いただき、我が国における医療情報データベースの利活用の将来展望を探ります。

つきましては、本研修会の趣旨にご賛同頂き、医薬品・医療機器業界や行政の開発・審査・安全対策関係の方々に加えて、薬剤疫学や医療経済等の研究者の方々にもご参加いただき、幅広い視点からご議論いただきますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

日 時	場 所
平成 24 年 6 月 19 日(火) 13:00～17:00	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 Tel. 03-3406-3326 地図は財団ホームページをご覧ください

【申込要領】

1. 申込方法

＝オンライン＝

受講希望の方は財団ホームページより申込手続きを行ってください。

- ①ホームページ (<http://www.pmrj.jp>) 研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ②申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には**入金確認メール(受講票)**を印刷し、**ご持参ください。**

2. 受講料 (消費税込) : 要旨集代を含みます。

- ・法人会員 1名につき 10,000 円
(法人会員は1口につき4名が会員扱い)
- ・個人会員/非会員 1名につき 15,000 円
- ・行政/アカデミア/医療機関/学生 1名につき 3,000 円

なお、受講者の方は、医薬品による健康被害防止に薬害の教訓をいかに活かすかを目的として、過去の薬害事件の概要や薬害防止に関する責務などを解説した「知っておきたい薬害の知識－薬による健康被害を防ぐために－」(研修用 CD-ROM 付き)を特別価格 1,700 円でご購入頂けます。ご希望の方は、申込手続き時に、案内に従ってご購入ください。

3. 注意事項

- 振込依頼書のご依頼人欄には、必ず**受付番号と受講者氏名(カタカナ)**をご記入ください。
- 参加申込後 1 週間以内にお振込みください。
- オンラインでの参加申込は研修会開催日の 10 日前までとなります。平成 24 年 6 月 9 日 (土) 以降のお申込みはお電話でお問い合わせ下さい。
- 事前に申込み、受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAX.での受付及び当日受付はいたしませんのでご了承下さい。
- 現金送金のご遠慮願います。
- 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承下さい。
- お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- 当日、許可された方以外の撮影及び録音はご遠慮願います。

問い合わせ先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15
一般財団法人
医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
薬事エキスパート研修担当
電話 03-3400-5644

第121回 薬事エキスパート研修会
医療情報データを新薬開発やリスクマネジメントに如何に活かすか

平成24年6月19日(火) 日本薬学会 長井記念ホール
(受付開始予定 12:00)

13:00~13:10 開会挨拶

寺尾 允男
(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)

13:10~13:50 医療情報データベースの薬剤疫学やリスクマネジメント、新薬開発戦略への活用の可能性を探る

川上 浩司
(京都大学大学院医学研究科薬剤疫学分野教授)

13:50~14:30 医療情報データベース活用によるリスクマネジメントの将来構想

山本 隆一
(東京大学大学院情報学環准教授)

14:30~15:05 治験・臨床研究における医療情報データベース活用の現状と将来展望

山路 弘志
(株式会社未来医療研究センター代表取締役社長)

15:05~15:25 休 憩

15:25~16:00 Real World Data (レセプトデータベース) の現状と展望、民間の経験から

木村 真也
(株式会社日本医療データセンター 代表取締役社長)

16:00~17:00 総合討論

共同司会：野口 隆志 (昭和大学薬学部臨床薬学教室客員教授)
土井 脩 (医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団理事長)

(演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承下さい。)
一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団(略称 レギュラトリーサイエンス財団)
*一般財団法人日本公定書協会は、平成23年6月17日より名称変更致しました。

<http://www.pmrj.jp>